

図19 VR装置を用いた刺激呈示と刺激に同期したトリガー信号と脳波の同時記録システム
 被験者には、正面、右面、左面、床面の4面がスクリーンになった1辺が10フィート(約3m)の部屋の中に入ってもらい、正面スクリーンから2m、右面から1.5m、左面から1.5mの位置に置いた椅子に座ってもらった。スクリーンにはGraphic Workstationにより作成された画像をプロジェクターから投影した。被験者の脳波は送信機によって約6m離れた脳波計に送信し、脳波計からの出力はGraphic Workstationからの刺激に合わせたトリガー信号と共にデータレコーダに保存した。データレコーダにはPCを接続し実験中の脳波をモニターした。

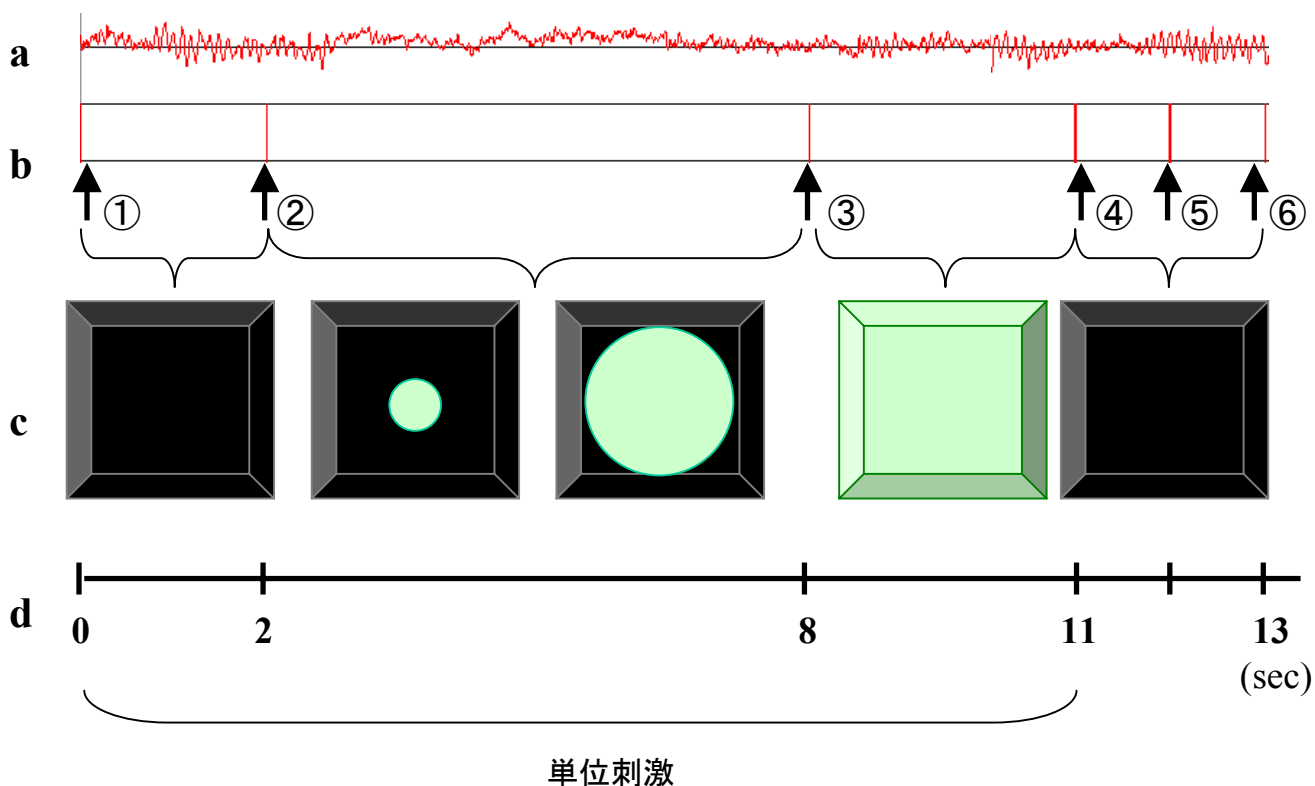


図20 刺激の変化とトリガーの位置

- a. 実験中の被験者の脳波。b. 脳波と同時に記録されるトリガーパルスを表している。トリガーは次のタイミングを示している。①刺激プログラムがスタートする。②円が出現し、拡大し始める。③全面緑（刺激円の色）になる。④再び背景のみに戻る。⑤次の刺激に切り替わったことを示す。⑥②と同じ。
- c. 被験者が見るスクリーンの変化を示している。d. 刺激変化のタイムスケジュールを表している。0-11秒までが単位刺激である。